

ベトナムで ヘリコプターは 何をしたか

HELICOPTER WARFARE IN VIETNAM WAR

Cover Illustration
M. Kelly(Satoshi Okada)
© WORLD PHOTO PRESS 2018
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

CONTENTS

006 ヘリコプターアート集

VIETNAM

017 HELICOPTER

ベトナム上空で暴れまわった
ヘリコプター野郎たち

027

Heliborne

FIGHTING CHOPPERS IN VIETNAM WAR
ベトナム戦争とヘリボーン

056

ベトナム戦争における
米陸軍ヘリコプター部隊マーク集

第2回サイゴン物語 Saigon Memories

068 Morning Tables on the Streets
「サイゴンで朝食を」

077 Militaria Roundup!

WWIIアメリカ陸軍空挺部隊 Part3

The Equipments of the U.S. Force

082 [現用米軍装備カタログ]

'90年代特殊部隊装備始動!
ABA社 Part.6 ABAベストを着こなしてみよう 後編

096 ニッポンの力こぶ by Masayuki Kikuchi

Ranger 平成30年度師団集合教育レンジャー
自衛官が憧れるレンジャー徽章

NEW GENERATION STYLER by fujiwara

098 インスタ系 #3 instagram系
装備スタイリング

第59回 全日本模型ホビーショーで発表

108 東京マルイ新製品情報!!

113 WESTERN ARMS
HOAG 6inch CUSTOM

117 WESTERN ARMS
COLT COMBAT COMMANDER
GARCIA VINTAGE EDITION

137 トイガンニュース
●WA ベレッタM9A1ウエポンライト・モデル
●タナカ S&W M60 PC 3in Ver.2/S&W M36 2in
スチールジュビター・フィニッシュVer.2
●マルゼン ワルサーP99コンパクト・ブローバック

COMBAT FRONT LINE

- 074 第59回 全日本模型ホビーショー
- 075 編集部オススメのミリタリーウォッチ3選!
- 076 注目作「ホース・ソルジャー」DVD発売!
- 092 サバゲ三等兵APSカップ 豊稔祈願 秋の特別篇
- 120 新製品てんこ盛り! COMBAT mono
- 123 US Shooting Life!
- 124 レアミリタリーテクノロジー
- 125 兵装嗜癖
- 126 ゲームOTT「レッド・デッド・リデンプション2」
- 127 ツゲチョリ
- 128 PRESENT
- 141 CIC
- 142 バックナンバーリスト
- 143 次号予告

HELICOPTER WARFARE IN VIETNAM WAR



ベトナムで ヘリコプターは 何をしたか——。

Artwork/Taku Mizuno Text/Kiyoko Kawamura

ベトナム戦争は、ヘリコプターがいなければ戦争にならなかった。
兵隊運ぶのもヘリコプター、倒れた兵士を引き上げ、撤退する足もヘリコプター。
重機、重火器をピンポイントで届けるだけでなく、
自分より図体が大きくて、とてものせきれない相手は吊り下げてでも運んだ。
呼ばれれば狭い艦船上から飛び立ち、ジャングルの奥深くへと侵入。
火器を積んで自らが攻撃に参加するガンシップにもなれた。
小回りがきく敏捷性と、タフで力持ちという相反する特性を備えたヘリコプターは、
このマシンを「チョッパー」と呼ぶ地上整備員やパイロットと搭乗クルーたちに囲まれて
一機に一つのハートスロブな物語を残してきた。



ベトナムの地勢とインフラ状況が、ヘリコプターが多用される状況を生んでいた。ベトナム南部では、雨期と乾期に二分される気象条件がある。雨期にはトラックなどの重量車両が、通行できる道路が寸断される。とくに南部のデルタ地帯とそれを取り巻く熱帯雨林ジャングルでは、クルマが高速走行できる道路網が未発達だった。海岸平地帯は、やっかいなことに、雨期がメコンデルタとは逆。つまり、モノと人員を動かすことが基本の軍事行動は、常に足かせをかけられた状況があった。これらの問題を抱えていれば、空中での機動力を発揮するヘリコプターへと目が向く。航空戦力に頼るのは当然すぎるほど当然だった。空からの偵察に、トラック代わりの輸送に威力を発揮していたヘリコプターが、武装するとガンシップとして攻撃参加が可能になる。ランディングゾーン上空へ飛び、敵がいてもいなくても周囲をペッパリングして、敵を発見した場合は、即座にエアサポートを要請し、ナバームでジャングルを焼き払い安全を確保する。こうしたヘリコプターによる一連の作戦行動が、常態化したのもベトナム戦争からだった。

VIETNAM HELICOPTER

ベトナム上空で暴れまわった ヘリコプター野郎たち

ベトナム戦争はヘリコプターの戦いであったと言われる。
なにしろ索敵撃滅作戦はヘリなしでは成り立たず、負傷兵の後送にもヘリの助けが必要だった。
弾薬からステーキに至る物資の輸送、故障機の回収、搭乗員の救出……
命知らずの“破れ傘野郎”たちが、ベトナムの空を乱舞する。
ささやかな“アート”を地上から見上げた時、視線と弾道が交差した。

構成／伊藤浩子 文／大路 聡 Photo/Fonthill Media/mediadrumworld./amanaimages

ヘリコプターが戦場に登場したのは、ベトナム戦争が初めてではない。第二次世界大戦では末期にごく少数が使われたにすぎないが、朝鮮戦争やアルジェリア戦争には多数のヘリが投入され、負傷者の後送や捜索救難で実績を挙げていた。にもかかわらずベトナム戦争が「ヘリコプターの戦い」と言われるのは、かつてないほど大量に投入されたヘリがさまざまな用途に使われ、目覚ましい活躍を見せたからに相違ない。

その背景としては、ちょうどこの時期がレシプロエンジンヘリからパワフルなタービンエンジンヘリへの転換期にあったこと。内陸の戦いでヘリの航続距離の短さが問題になりにくかったこと。制空権を確保していたこと。対空砲火の脅威がさほど

高くなかったことなどが挙げられる。しかしそれだけではない。そもそも前線らしい前線が存在せず、点と点を繋いで戦わざるを得なかったベトナムでは、ヘリによる空中機動以外にそれを行なう手段がなかったのだ。

ところで「対空砲火の脅威がそれほど高くなかった」について。たしかに解放軍が携帯式SAMを持ち込む以前の南ベトナム国内においては、12.7mm機関銃の有効射程以上の高度を飛んでいるかぎり、撃墜される可能性は低かった。しかし低空低速で運動の自由の効かない離着陸時には、あらゆる歩兵小火器の脅威にさらされる。機関銃や装甲板の装備、武装ヘリによる護衛、攻撃ヘリの開発と配備といった対策がとられはしたが、

それでも危険と不安を完全に取り除くには至らない。

だからであろうか。ヘリクルー達は愛機にニックネームを付け、“アート”を描きこんだ。自らを勇気づけ、敵を畏怖させ、神の加護を得るために己の身体を彩った太古の戦士達のように。二つの大戦や朝鮮戦争を戦った搭乗員達のように。

しかし……である。「前線らしい前線が存在せず、点と点を繋いで戦わざるを得なかった」時点でもう、彼らに勝ち目はなかった。既に南ベトナムの住民の心はサイゴン政権を離れ、解放戦線の側に向いていた。

愛機がグリーン・ホーネットであれ、彼らが超人ハルクであれ、ベトナムの人々の志、独立と統一への決意を覆すことは出来なかったのだ。

“タイガー・ワゴン” UH-1H (67-17600)：第129強襲ヘリコプター中隊 (アンソン、1971年)。機首のエンブレムは (多少アレンジされているが) 同隊と頻りに合同作戦を行なった韓国陸軍首都機械化師団 (通称“猛虎部隊”) の部隊章であり、盾は国土の防衛、緑地は希望、白枠は団結、雄叫びをあげる虎は勇猛さ、眼つきは情熱、赤い舌は強大な火力を表している。傍らでリラックスするクルーは「榴霰弾の到着を待っているところ」だそうだが、階級や年齢の上下差を尊重する韓国人将兵の目に、彼の振る舞いはどのように映ったのだろうか。

Heliborne

FIGHTING CHOPPERS IN VIETNAM WAR

ベトナム戦争とヘリボーン

文／村岡英夫

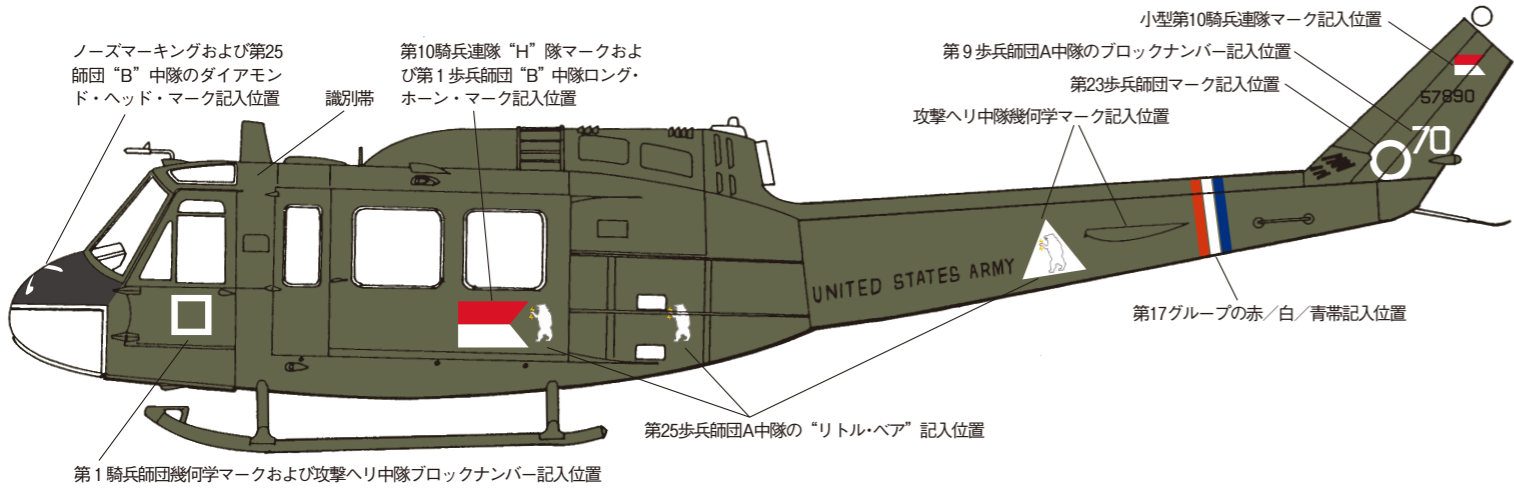
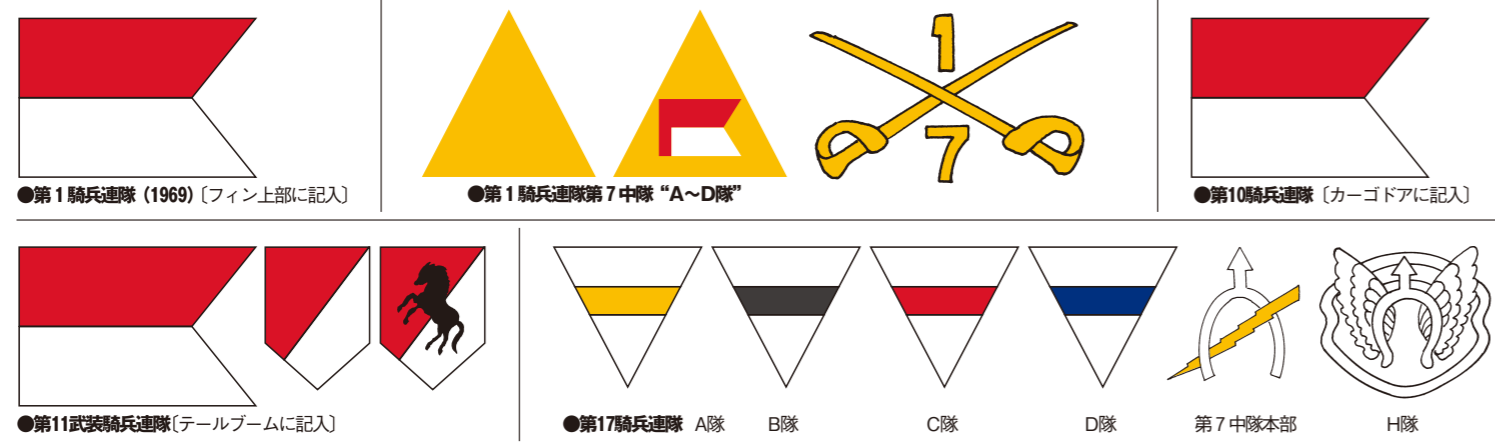
陸軍士官学校52期出身の戦闘機乗りとして太平洋戦争を戦った後、戦後は陸上自衛隊へ入隊、“陸自最大のヘリ集団”第1ヘリコプター団長(第3代)を務めた陸自ヘリボーン作戦の先駆者、村岡英夫元陸将補が時系列で記す、ベトナム戦争における米軍・南ベトナム軍ヘリの活動とヘリを主役とした数々の大規模オペレーション。



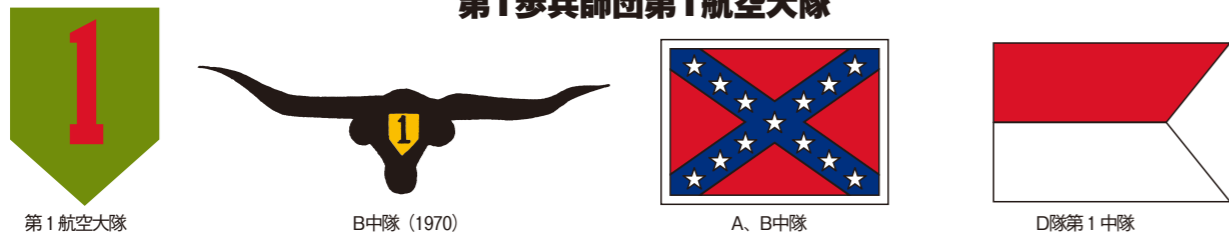
ベトナム戦争における米陸軍ヘリコプター部隊マーク集

作図・解説 / 野原 茂

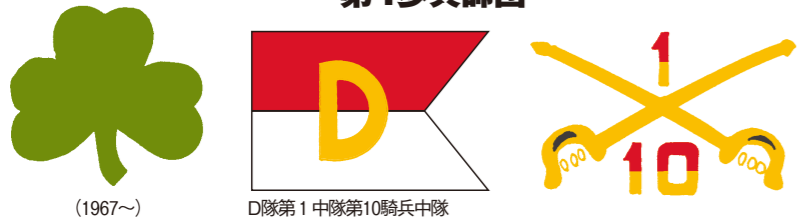
UH-1D/Hのマーキング・ロケーション



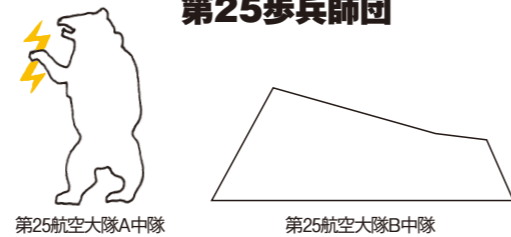
第1歩兵師団第1航空大隊



第4歩兵師団



第25歩兵師団

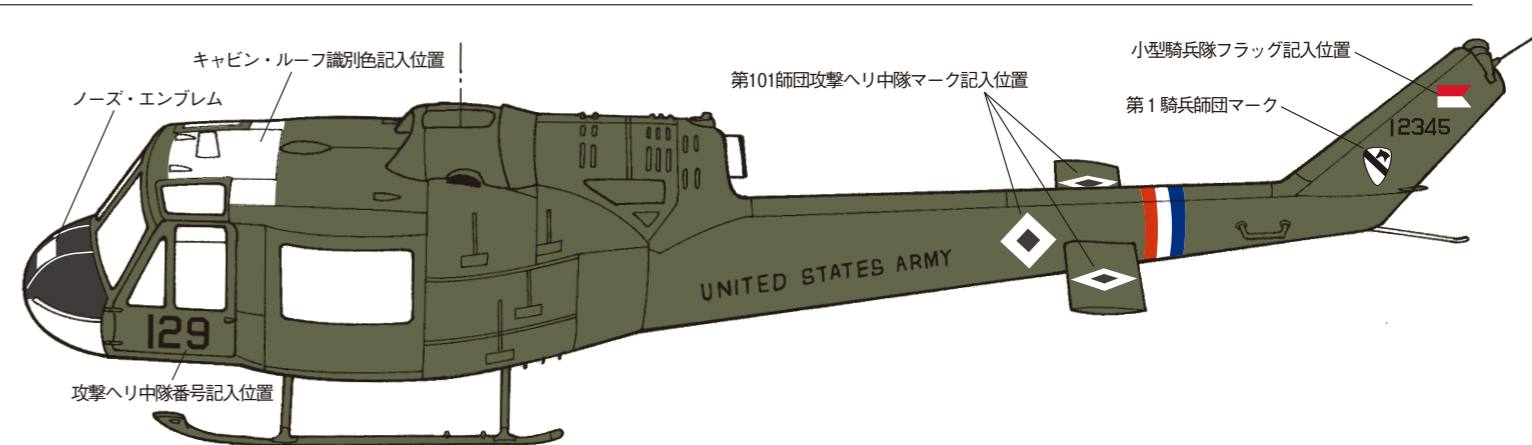
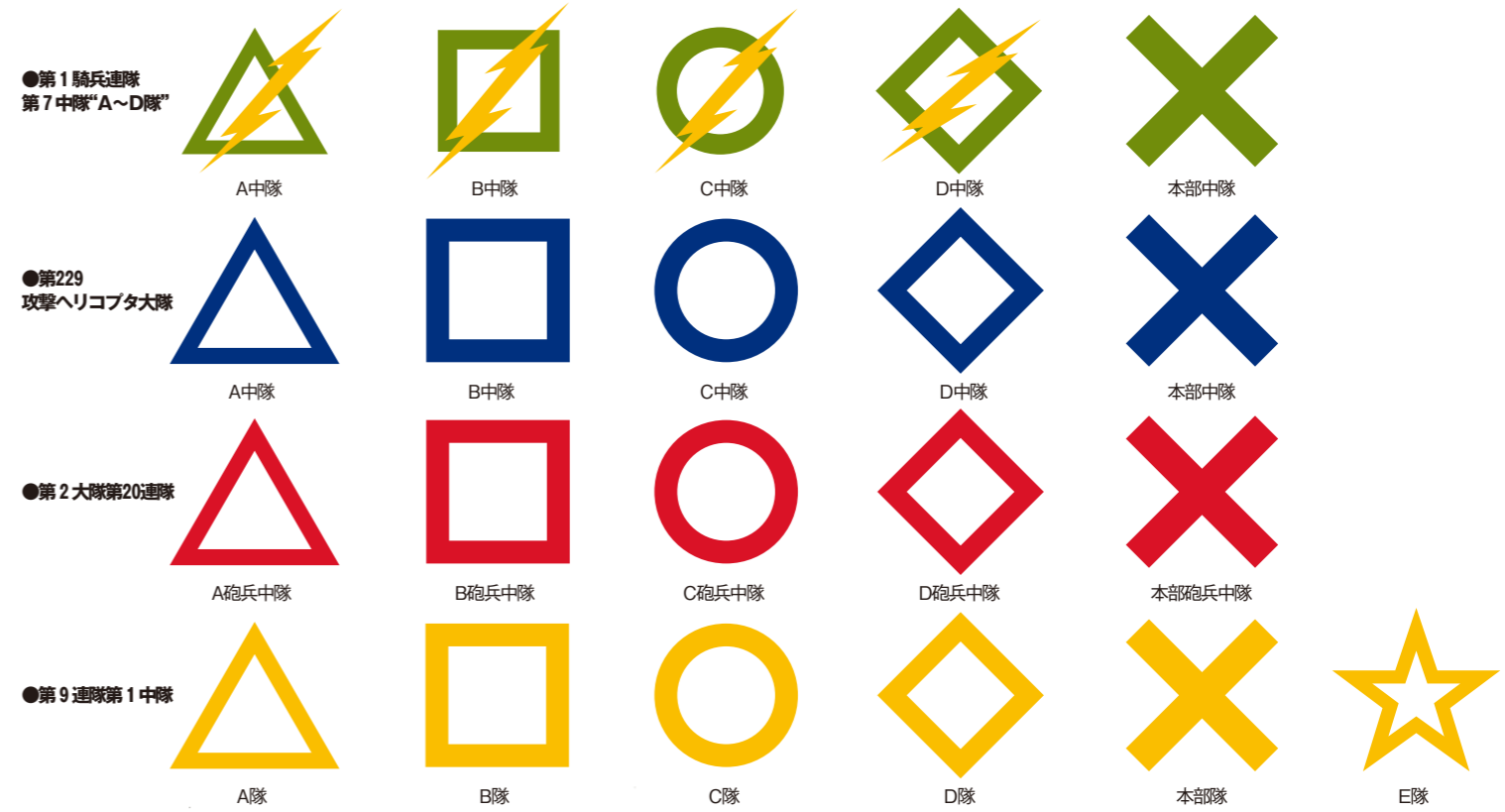


第9歩兵師団

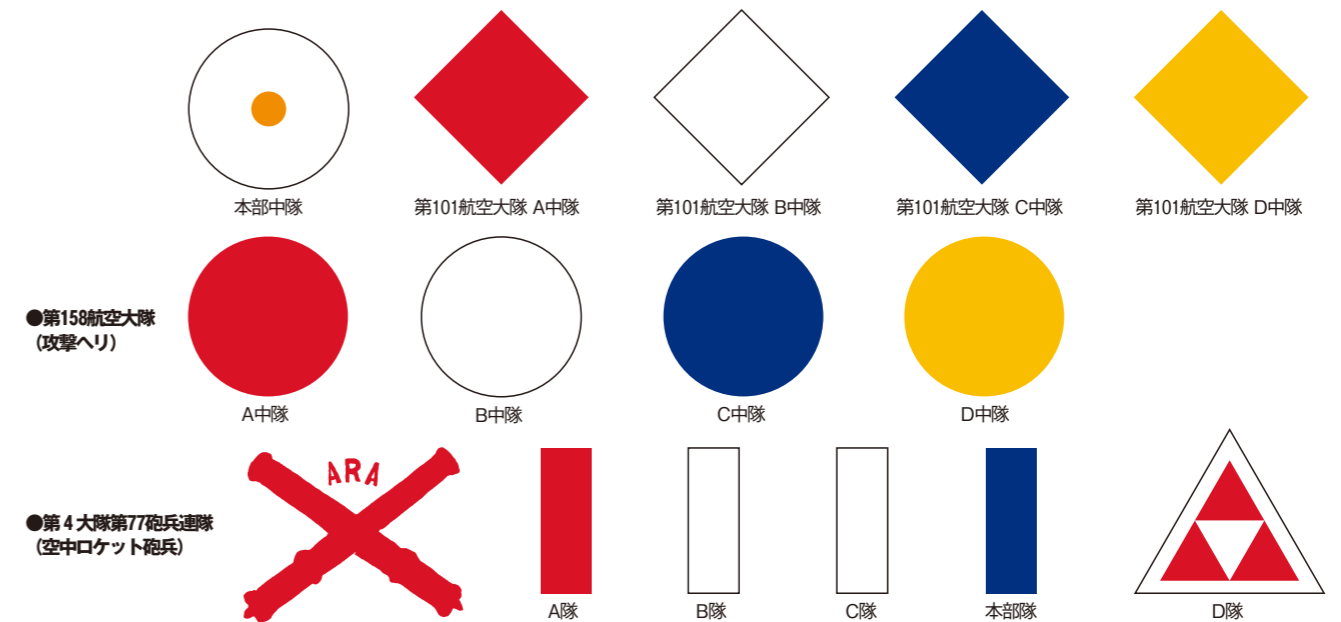


UH-1B/Cのマーキング・ロケーション

第1騎兵師団 (空中攻撃)



第101空挺師団 (空中機動)





第2回
サイゴン物語
 Saigon Memories
Morning Tables
on the Streets
「サイゴンで朝食を」

サイゴン河の朝焼けを見ながら
 ホーチミンでモーニングテーブルを囲む。
 そこは路上のど真ん中、すぐ脇をオートバイの波が進んでいく。
 コムビンザンは定食屋。おかずが数種類用意されており、
 ご飯+おかずで定食プレートのできあがり。
 おかずは2種類か3種類選べる。
 ものすごくリーズナブルなカフェテリア。
 ただし、そこは路上だけだ。

文/コンバットマガジン編集部 Text/CM Editorial Staff
 写真/今井今朝春、河村喜代子、WPPコレクション
 Photo/Kesaharu Imai, Kiyoko Kawamura, WPP Collection

スープ麺と野菜炒め、豚肉、牛肉の煮物メニューは、路上屋台で出会うベトナム飯の入門メニューとしておすすめ。素材の正体が目で見て分かるので味が想像しやすい。よくあるメニューをいくつか上げておく。まずは「フォーガー」。鶏肉入りのフォーで、澄んだスープが極上のうまさ。「フォーボー」は牛肉入りのフォー。「ブンポー

エ」は古都フエのスープ麺。牛と豚足をベースにしたスープに唐辛子を加えてピリ辛味に。そこにレモンラスが加わり、動物脂のくさみは一切なし。麺はブンやフォーだけではない。南部には「フーティウ」もあり、バリエーションは多彩。次におかず系。「ティットコーチュン」は醤油味ベースの豚肉の角煮だ。味がしみた卵はまるで煮卵。北ではこの卵を一度、油で揚げたてである。野菜炒めならまず「ザウムオンサオトイ」。見れば空の心菜のニンニク炒めだとすぐ分かる。これはベトナムに限らず、香港、台湾、タイなど東南アジアで共通の炒め物。「ボンビーサオトイ」はカボチャの花のニンニク炒め。朝の屋台では、ご飯とおかずをワンプレートにして出してくれる。

ホーチミン市でおすすめのコムビンザン

- Cat Tuong** カットトゥエン
 「朝ごはん」フォー ガーとミエン ガーが抜群 北部風フォーと麺の専門店
 ⑥3 Thu Khoa Huan, P. Ben Thanh, Q1 ⑧7:00~23:30
- Hoang Yen** ホアン イェン
 「昼ごはん」ごはんのおかずが自信あり ローカルに大人気の家庭料理の店
 ⑦7-9 Ngo Duc Ke, Q1 ⑧9:00~23:45
- MINH DUC** ミンドック
 「昼ごはん」ずらりと並ぶおかずが豊富！ 高級ビンザン食堂
 ⑩100 Ton That Tung, P. Ben Thanh, Q1 ⑧7:00~22:00
- Quan com So7** クアン コム ソー7
 「昼ごはん」土鍋入りの煮物が看板メニュー 超ローカル向けの人気ビンザン食堂
 ③3 Nguyen Van Trang, Q1 ⑧9:00~22:00
- Quan Com 138** クアン コム 138
 「昼ごはん」色とりどりのおかずが楽しい 南部スタイルのビンザン料理
 ⑩138 Vo Van Tan p6 Quan 3 ⑧10:00~13:00
- Com Dong Nhan** コム ドンニャン
 「昼ごはん」常時3~40種類のおかずが並び有名店 早い安い美味しい大衆食堂
 ④42 Truong Dinh, Q1 ⑧10:00~19:30
- Banh Xeo 46A** バイン セオ 46A
 「晩ごはん」定番中の定番 ベトナム風お好み焼きの専門店
 ④46A Dinh Cong Tang, Q1 ⑧09:30~14:00 / 16:00~21:00

上記店舗情報は2018年3月時点のもの。兄弟誌「モノ・マガジン」ベトナム取材班調べによる。 **069**



Ranger

平成30年度 師団集合教育レンジャー

陸上自衛隊に入隊した者であれば、職種を問わず誰もが一度は憧れるレンジャー徽章。
“生き地獄”さながらの厳しい訓練に打ち勝った者だけが胸に掲げることのできる精強さの証だ。
日本最北の部隊である第2師団で、
あえて厳しい試練に挑んだ30名の男たちを追う――。

自衛官が憧れるレンジャー徽章

2018年5月7日から7月31日までの約3ヵ月に渡り、第2師団（旭川）による「平成30年度師団集合教育レンジャー」が行なわれた。今年度の訓練を担当したのは第3普通科連隊（名寄）。師団隷下の各普通科連隊がローテーションで担当している。レンジャー徽章は、全自衛官たちの憧れだ。決して砕けない「堅固な意思」の象徴としてダイヤモンドを中央にあしらひ、それを「勝利」を意味する月桂冠で囲む。この徽章を胸に掲げることができるのは、筆舌に尽くしがたい訓練に戦い挑み勝利した隊員だけだ。

日本で唯一「レンジャー課程」として、全員必修としているのは第1空挺団のみ。そのほかの部隊ではレンジャーは付加特技のひとつであり「レンジャー集合訓練」や「集団教育レンジャー」などとして実施している。よって、第1空挺団以外に常設のレンジャー部隊は存在せず、あくまで隊員個人の資格となっている。有事の際はレンジャー隊員たちを集めて特別な任務を遂行する事になる。今回は、第2師団隷下の各部隊から55名の隊員が集まってきた。レンジャーに憧れ、そして自分を限界に追い込む戦いへ挑むことを誓ったツ

ワモノたちだ。普通科だけでなく機甲科や施設科など、さまざまな職種の隊員が参加した。志願すれば、誰でもレンジャー訓練を受けられるわけではない。訓練中にもしもの事がないように、まず身体検査が行なわれ、続いて厳しい体力検査が行なわれる。55名いた志願者は、最終的に30名へとふるいにかけられた。訓練は大きくふたつに分けられる。前段は5月7日から6月20日まで行なわれる「基本訓練」だ。ロープの使い方を学ぶ山地潜入訓練やヘリを用いた空路潜入訓練、食料を現地で調達し、その調理方法までを学ぶ

生存自活訓練などを、駐屯地や演習場、または自衛隊の敷地外の自然の中で学ぶ。これは全国各地のレンジャー訓練においても同じ内容で実施している。これが終わると、後段の約5週間の「行動訓練」へと移る。これまで「基本訓練」で学んできたことの集大成として、第1想定から第9想定までのさまざまな戦闘状況を演練していく。第9想定は“最終想定”とも言われ、3夜4日に渡り行なわれるもっとも過酷な訓練だ。この4日間、レンジャー学生たちは、ほぼ飲まず、食わず、寝ずで訓練を繰り返していく。



過酷な訓練に頬はやつれ、疲れをにじませるレンジャー学生たち。しかし、決してひるまず、訓練に挑んでいく。訓練期間中、学生は助教から何を言われても「レンジャー!!」としか答えない。



第59回 全日本模型ホビーショーで発表 東京マルイ新製品情報!!

関東最大級の模型とホビーの展覧会が開催!!
トイガンユーザーも絶対に抑えておきたいイベントだ。
今回は、このホビーショーで発表された
東京マルイの新製品をチェック!

TOKYO MARUI MARUI

5月に静岡で開催される「静岡ホビーショー」と並び称される関東最大級のイベントが、毎年秋に開催される「全日本模型ホビーショー」だ。東京ビッグサイトで開催されるこのホビーショーには、日本国内の名だたるホビーマーカーが一堂に会し、年末から新春にかけて発売予定の新製品などの発表を行なうため、業者はもちろん、一般のユーザーにとっても注目度の高いイベントなのである。数ある出店メーカーの中で、本誌読者が注目するのは何といっても東京マルイだろう。東京マルイでは、静岡ホビーショーに続いてこの全日本模型ホ

ビーショーでも新作を発表する事で知られている。ショー開催の1週間ほど前からHP内にて新製品のチョイ出しを行なうのも馴染みとなっており、ネットでは、ユーザーがその新製品が何なのかを予想するというのが恒例行事的な流れとなっている。今回、東京マルイが会場で発表した新作は発売直前のモノも含めて全部で7機種。本誌が発売される頃には市場に出回っているであろう最新モデルの GLOCK19 や、HK416 DELTAのブラックモデルは量産品に近いモデルが展示されており、実際に手にしてその完成度を間近にす

事が出来た。そのほかの4機種についても、随時発売されるという事なので期待したいところだ。発売予定の新製品のほかにも、先日発売と同時に売り切れ店が続出したGGOとのコラボモデル「P-90 Ver.LLENN」やガスプロの「MTR-16」といったモデルや、東京マルイ・オリジナル・デザインのプロトモデルなども展示されていた。東京マルイ・オリジナルモデルは、実銃にはないが、どれも魅力的なデザインが多く、話題を呼んでいた。こうしたイベントの魅力は、発売前の新製品を実際に見たり手にする事ができるだけでなく、開発に関わった

スタッフに直接話を聞くことができる場所にある。普段聞けないような事を聞けるかもしれないというだけでも足を運ぶ価値はあるだろう。残念ながら、今年度のホビーショーは終了してしまったが、11月には東京マルイ単独イベントである「東京マルイフェスティバル5 in ベルサール秋葉原」が開催されるので、興味のあるユーザーはぜひ足を運んでみて欲しい。詳しい情報については東京マルイのHPにて近々発表されるので、そちらを随時チェックしよう。それでは、気になった新製品4機種をピックアップして紹介しよう。



次世代電動ガン

Mk18 Mod.1

東京マルイの名物広報のデカ島村氏にMk18を持っていただいた。どんな装備にもマッチするシンプルさが魅力だ。



ブラックボディにレイルハンドガードとTANカラーのストックが印象的なモデルである。シンプルなデザインなので、比較的扱いやすいモデルといえるだろう。



今回のホビーショーでは次世代電動ガンの最新作となる「Mk18 Mod.1」が発表された。M4A1をベースに米軍特殊部隊の要請により、部隊での使用を主としてデザインされたCQBモデルである。障害物の多い閉鎖された空間での使用を想定した10.3インチバレルやダニエルディフェンス社のレイルハンドガード、シュアファイアタイプのフラッシュハイダー、KACタイプのフリップアップサイトなどを装備している。

M4系のカスタムはバリエーションも多く、ファンの人気も高い。東京マルイがモデルとして選んだMk18 Mod.1も、そういった数あるバリエーションのひとつで、最新のサイトなどを装備したブロック2仕様をモデルアップするという拘りようだ。

Mk18 Mod.1の発売時期については今のところ未定だが、年末から年明けに向けてとのことなので、購入を考えているユーザーは貯金しておく事をお勧めする。

Mk18 Mod.1
●全長:715mm/790mm (ストック伸長時)
●重量:3,210g
●装弾数:82発
●価格:価格未定

4面レイルを配したダニエルディフェンスタイプのハンドガードにSFタイプのフラッシュハイダーとタンカラーのストックというシンプルなパーツ構成のモデル。はじめから色々セットされているのも良いが、自分好みにカスタマイズするのであれば、これくらいシンプルの方が良いだろう。

ストックチューブの根元にはスリングプレートを装備。ここにワンポイントスリングを装着するもよし。フロントのCQDタイプフロントスリングアダプターと併用すれば用途の幅は広がる。

4ブロングタイプのSFタイプのフラッシュハイダーを取り外せば逆ネジ仕様になっているので、好きなマズルアタッチメントと交換も可能。